

(平成28年度)

小学校適正規模等検討委員会答申に基づく具申内容説明及びPTA懇談会まとめ

	Page
1. 開催状況	1
2. GW(グループワーク)の内容	1
3. GW(グループワーク)の結果	2
4. 結果分析	15

(平成28年度)

## 小学校適正規模等検討委員会答申に基づく具申内容説明及びPTA懇談会まとめ

### 1. 開催状況

	開催日	時間	対象校	PTA参加者	班編成	学校関係
第1回	7/23(土)	午後1時～	富河小学校	14	3班	2
第2回	7/30(土)	午後1時～	栄小学校	6	1班	2
第3回	8/21(日)	午前9時～	万沢小学校	17	4班	10
第4回	8/21(日)	午後1時30分～	睦合小学校	5	※1 2班	6
合 計				42		20

※1 教職員4名で1班を編成しました。

※2 所要時間は概ね3時間でした。

### 2. GW(グループワーク)の内容

【目 的】 具申内容の内容を理解していただいたうえで、参加者が個々に意見を述べ、記述することにより全員の意見を汲み上げる。  
参加者がGWを通して当事者意識を持って考えていただく。

【留意点】 個々の率直な意見を引き出すため、以下の約束を徹底していただきました。

- ① 人の意見を批判しない。
- ② 自説を押し付けない。
- ③ 「なぜできないか」ではなく「どうすればできるか」考える。
- ④ 必ず全員が意見を述べる。

【内 容】 4～6人のグループを編成し、統合した場合と統合しなかった場合とで、課題をあぶり出し、その重要度を評価し、解決策を考えていただきました。

#### 進行順序

- ① 具申内容について感じたことを発表し、意見交換する。
- ② 「統合した場合」、課題・問題について意見交換する。
- ③ ②の意見交換を踏まえ、個々に課題・問題を大型付箋に記入し(枚数制限なし)、模造紙に貼り出す。
- ④ 類似する付箋を集約し、それぞれに表題をつける。
- ⑤ 表題をつけた課題・問題について個々に重要度を評価(3～1点)する。
- ⑥ 点数を集計し、評点の高い順に整理する。
- ⑦ 最重要と評価された項目の解決策について意見交換する。
- ⑧ 個々に解決のアイデアを付箋に記入し(枚数制限なし)、模造紙に貼り出す。
- ⑨ 類似する付箋を集約し、それぞれに表題をつける。
- ⑩ ⑥で集計した記録にそれぞれ行政・学校・PTA・地域の役割分担を課す。
- ⑪ 「統合しない場合」、課題・問題について個々に大型付箋に記入し(枚数制限なし)、模造紙に貼り出す。
- ⑫ 類似する付箋を集約し、それぞれに表題をつける。
- ⑬ 表題をつけた課題・問題について個々に重要度を評価(3～1点)する。
- ⑭ 点数を集計し、評点の高い順に整理する。
- ⑮ 最重要と評価された項目の解決策について意見交換する。
- ⑯ 個々に解決のアイデアを付箋に記入し(枚数制限なし)、模造紙に貼り出す。
- ⑰ 類似する付箋を集約し、それぞれに表題をつける。
- ⑱ ⑭で集計した記録にそれぞれ行政・学校・PTA・地域の役割分担を課す。

終了

### 3. GWの結果 【統合した場合】

富河小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見	
					行政	学校	PT A	地域		
富河小1班	問題や課題	1	8	万沢地区の今後 (子どもの減少・衰退)	3		1	2	万沢の地域が寂れる。 万沢の小学校が無くなることにより富沢地区全体の少子化が進む。 地域の人が参加している万沢小学校の行事(運動会など)が無くなる。	
		1	8	通学に関する負担増	3	2		1	広域の学区になるので通学にかかわっての子どもの負担は増える(万沢地区)。 子どもの送迎を親がやらなければならないことが増える。 万沢の子ども達の通学負担増。 通学・・・。	
		3	7	子どもへのケア問題			3	2	1	統合後の子ども達の富河・万沢の心情。 大きな違いはないが、教育上のきめ細かな対応ができるという点については少し薄れるか・・・。
		4	5	放課後に関する問題	2	3	1			下校の心配があるので、放課後の活動がさらにしにくくなる。 放課後の過ごし方(下校時バスを待つ時間)。
		5	2	用途廃止施設の活用問題	3	1			2	万沢地区の施設等、未使用箇所の有効活用。
		最重要課題：万沢地区の今後(子どもの減少・衰退)								
	課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見				
		交通網の整備・確保				中部横断道のICを万沢に作り、利便性を高め雇用促進する。 もっと交通を便利にする。道路を造る。身延線の本数を増やす。 通学は生徒の家に直行し、万沢の負担を軽減する。				
		万沢地域で学習				校外学習に万沢に出かけることにより、地域の方と交流ができる。 定期的に万沢小学校を利用して学習することで活気を維持できる。				
		地域住民の協力				地域の人が参加できる行事をなるべく多くする。(運動会・発表会等) 親子の通学負担を減らすため、地域住民の協力をいただく。				
		地域活性化				万沢にイベント会場を作り、人を集める。(10万人規模) 万沢小学校を公園のように誰でも利用できるようにする。				
		人口増加策の推進				住宅をたくさん建てる。 万沢地区の空き家を有効利用し、住みやすい環境を作る。				
		企業誘致				大きな会社を万沢にもってくる。雇用を増やす。				

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見	
					行政	学校	PT A	地域		
富河小2班	問題や課題	1	12	通学における諸問題	3	2	2	1	万沢地区の子どもの通学時間の増大。 通学時間と方法。 通学スクールバス。	
		2	5	施設問題	3	2	2	1	学校の校舎・施設等。(旧富河中を改修し新校舎として受け入れてほしい)	
		3	4	いじめ	1	3	3		多数側の子ども達がどう受け入れるか。(いじめ等)	
		4	3	転入者が増えない	3			1	万沢小学校が廃校となる中で万沢中学校跡地の分譲地に入居する人がいるか？すなわち万沢地区への転入者が増えるか？	
			0	小学校区の再編成					十島・井出の子どもを受け入れ。	
			0	子どもの意見					統合は子どものことを考えて早くしてほしい。	
		最重要課題：通学における諸問題								
		課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見			
	きめ細かなスクールバス運行				児童宅に近い所にバス停を作り、スクールバスを出す。 必要に応じてスクールバスを走らせる。					
	中学校のスクールバス活用				中学校のスクールバスの利用。					
	町営バス活用				町営バスの利用を可にする。 町営バスの利用。					
	タクシー利用				タクシーの利用。					

班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見
				行政	学校	PT A	地域	
富河小3班	問題や課題	1	15	統合時の子どもの心の問題		3	1	統合時の子ども達の思い。 気の合う、合わない。 N授業を増やして慣れる時間が多くなると良し。
		2	10	統合時の先生の配置	3	3		お互いの先生が学校にいてほしい。(心のケアのため) 統合時の両校の先生の割合。
		3	5	親の不安	3	1	1	統合時の受け入れ不安。 車の運転手、だいじょうぶか？
	最重要課題：統合時の子どもの心の問題							
	課題解決のアイデア	アイデア項目			個々の意見			
		さまざまな交流の機会を持つ			子ども同士の交流の場を増やす。			
					お互いの学校へ行き来する日をつくる。			
					一緒にできる授業を一緒にする。			
					給食をたまには一緒に食べる。			
		交換日記			先生との交換日記。			

# 栄小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

栄小1班			順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見
班						行政	学校	PT A	地域	
栄小1班	問題や課題	1	12	通学に関する問題	3	3	2	2	通学距離が長くなることへの対応。 通学距離が長くなる。 通学距離。 登下校路の整備の必要性。 バス？歩き？自転車？送り迎え？ 通学手段はどうなるのか？ 通学手段。 通学方法。 通学方法。 バス通学の費用負担は各家庭？	
		2	10	災害・緊急時対応について	3	3	3	3	災害時等の対応。 もしもの時の対応。	
		2	10	学校施設	3	3	2	2	どこに学校を置く？ 学校の設備。	
		4	2	教員人員配置	3	3	2		先生の人数は？ 教師は1学級1名？2名？	
		5	1	統合直後の子どものメンタル	3	3	3	1	学校になかなか慣れない子→そのフォローは？	
		5	1	学童保育	3	1	3	1	学童保育はどうなる？	
		最重要課題：通学に関する問題								
	課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見				
		スクールバスの整備・充実				スクールバスの充実。				
						スクールバス。				
						バス通学。				
						集合場所を決めてスクールバス通学。				
		ボランティアによる安全確保				徒歩通学の場合、通学路の見守りを強化する。				
通学時のボランティア隊。										
見守りボランティア。										
徒歩(体力向上)				見守り隊。						
自転車通学				登校だけは歩きで。						
道路整備				主要道路まで歩いて集合。						
南部橋付近に学校整備				自転車通学。						
				道路整備。						
				南部橋付近へ学校を。						

## 万沢小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見	
				行政	学校	PT A	地域		
万沢小1班	問題や課題	1	15	交通面(通学)の問題	3	2	1	2	登下校の交通面。
									スクールバスの時間。
									児童館の利用とスクールバスの時間の問題。
									下校時間やスクールバス。
									バスに乗り遅れたら送っていくの？
									登下校の問題。
									交通の便の問題。
									交通問題。
		2	8	災害時の問題	3	3	2	1	災害時の対応→すぐに迎えに行けない距離。
									災害時の子どもの安全確保。
									災害時や国道52号が止まったら？
									災害時の対応。
	3	5	地域との関わり問題	1	1	2	3	地区の人と子どもたちの関わりが少なくなる。(どこの家にはあの子がいるなど)	
								地域の方の行事参加(子どもとの交流)の機会を奪う。	
								学校行事など万沢地区の協力が得られにくいのでは？	
	4	1	環境の変化の問題	1	3	2			子どもの精神的ストレス。
	4	1	長期休暇の問題	3	2	2	1		色々な変化に子どもは対応できるのか？
									夏休みのプールは、どうやって行けばよいのか？
最重要課題：交通面(通学)の問題									
課題解決のアイデア			アイデア項目	個々の意見					
	スクールバス運行(の充実)			スクールバス運行(複数本)。					
				スクールバスを複数本出す。					
				スクールバスは複数本必要。					
				帰りのスクールバスを複数本運行(通常下校と児童館利用後下校)。					
				バスの帰り、学童利用者の時間に合わせてもう1本。					
	地域の方の協力			見守り隊の協力をいただく。					
				登校時の地域の方の見守り。					
				見守り隊の協力をいただく。(バス乗り場まで)					
				バス乗り場からの子どもの安全。(地域の人たちの協力)					
		町営バスの利用	町営バスの有効利用。						

班	順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見						
				行政	学校	PTA	地域							
万沢小2班	問題や課題	1	12	登下校の問題	3	3	2	1	スクールバス通学により保護者に時間の制約が生じる 登下校での時間的制約が大きい。(バスの時間に拘束される) 登下校が自分で行けなくなり、保護者の負担が増える。 バスに乗り遅れたら親の送迎が必要。職場とのかねあい。 歩いて通うことが大事。歩かないし、他力に頼りすぎる。 万沢・富河地区の子どもたちの通学問題。					
		バス通学による体力低下の不安 バス通学による歩く機会の減。運動不足。体育だけでは不足。 バス停が多すぎるのも疑問点。												
		休日の遊びの変化と親の負担 休日の遊びに送迎が必要になる。地域の子どもが集まって遊ぶことが減っていく。												
		バス通により時間拘束と通学距離による時間格差が生じる 帰宅時刻の差により教育的格差生じないだろうか。												
		2	6						災害時への不安	3	3	2	2	災害、避難訓練等の送迎に時間がかかる。時間が読めない。 災害時の迎えが困る。
		3	4						地域の衰退	3	1	2	3	学校がなくなることで若い世代が定住を望まなくなる。 地域の行事等の衰退、受け継ぐ子どもがいなくなる。(学校統合後の児童減による影響 地域の活力の問題→人口減により過疎化が急速に進む。
		4	2						児童の人間関係への不安	3	3	3	1	人間関係を不安に思う子が出てくるのでは。 現環境に慣れている子等が新しい環境に馴染めず、学校に行きたくない、という子が出るのではないか。 個々の子どもの意見がとおりづらい。
		5	0						PTAや学校行事等で少数意見が反映されるか	2	3	3	1	子どもの少ない地域の意見が反映されにくくなる。 子どもの少ない地域の保護者負担増(地域役員・奉仕作業・行事等)
		最重要課題：登下校の問題												
		課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見							
			スクールバスの本数増と充実				運行時間を増やし、子どもが自分の力で移動できるようにすれば、休日も自力で友人と遊びとうするようになる。→自己解決力が上がる。 スクールバスのきめ細かな対応。(ミニバン活用等も) ある程度本数を出せることが必要。(そうしないと親の送迎が必須になる) スクールバスの本数を増やす。							
			歩道の確保(自分で歩いて通える環境を)				統合する地域同士を結ぶ歩道を作る。 安全に通学ができる歩道の整備。 歩道の確保。							
			停留所の適切な設置(数・場所)				スクールバス本数増が無理なら町営バスも本数を増やし、万沢地区⇄富河小の停留所を設置する。 少しは歩いてほしいので、停留所の数を減らしてほしい。							
			地域で遊べる場所・機会の充実				地域の遊び場の確保。(公園・児童館の充実) 体力づくりの充実(学校・地域?)							
			新校舎の建設(中間地点に)				富河と万沢の中間に小学校を作る。 既存の施設でなくて、新たな場所に校舎をつくる。							

班	順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見		
				行政	学校	PTA	地域			
万沢小3班	問題や課題	1	10	学校が地域からなくなることによる「地域の衰退」	3	2	2	3	地域の学校がなくなることによって地域がますます寂しくなるという不安。 万沢から学校・保育園が無くなり、さらに人口が減る。(若い人が定住しない。 万沢地域の衰退。 万沢が過疎化していく。	
		2	9	登下校・緊急時の対応	3	2	2	1	急に子どもを迎えに来るように言われても、すぐには行けない。 (対応できる家族がいない) 震災時の対応。 登下校が大変になる。 登下校の送り迎え。 登下校の親の負担。 登下校の問題。	
		3	5	きめ細やかな授業がなくなってしまう・・・	3	3	1	1	子どもと先生のつながりが弱くなる。 今ほどの手厚い授業が受けられるのか。	
		4	0	富士見ハイツ・分譲地問題					中学校跡地のアパート・分譲地に住む人がいなくなる。無駄になる。 町営を建て、入居募集をかけた際の条件と違う。	
		最重要課題：学校が地域からなくなることによる「地域の衰退」								
		課題解決のアイデア	アイデア項目			個々の意見				
			地域活性化の推進			生活圏である静岡に最も近いことを活かした商業施設の勧誘。 商店街の再開発をして住みやすくする。 商店を増やす。				
						子どもたちやお年寄りの方々が町内を行き来できるよう、町のバスの充実。 公共交通機関をもっと充実させる。(バスの充実)				
	人口を増やす。 人口を増やす。									
	学校存続			小学校存続。 学校を残す。						

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見
					行政	学校	PTA	地域	
万沢小4班	問題や課題	1	13	災害時の対応	3	3	2	2	災害時・緊急時の対応がどうなるのか。 災害時の対応。
		2	6	通学に関する問題	3	3	3	2	スクールバスでの通学になる前提なので、細かい対応していただけるか。 スクールバス運行時、雨の日の待つ場所濡れないように。 バスの停車場所。 スクールバス運行について。 スクールバス運行について。
		3	5	子どもの気持ち	3	3	3	2	小規模校から環境が変わり、子どもがなじんでいけるか。 子どもの気持ちを優先していきたい。 知らないところへ行く子どもの不安。
		最重要課題：災害時の対応							
	課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見			
		学校側の対応				学校を信じる。 先生を信じる。			
		PTA・行政との連携				情報を可能な限り保護者に流してもらう。 メールを活用。			
		災害に強い道路整備				52号線の通行止め解消。			



## 睦合小学校（仮定の設定として、現在地で受け入れ統合ではないものとした）

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見	
					行政	学校	PT A	地域		
睦合小1班	問題や課題	1	9	新校舎はどこ？ ※このテーマは課題解決をさぐるにふさわしくないと判断し、2位の項目を最重要課題とした。	3		2	2	新校舎新築、どこにする？今の校舎がもったいない。 新校舎の費用は税金？増税？有志募集？ 新しい校舎が必要になる。 残った施設・学校のこと→荒廃。	
		2	5	災害時の問題	3	2	2	2	家と学校が遠くなると、災害時の引き取りなど困難になる。 災害時の引き渡しが大変。	
		2	5	教師の負担増	3	3	2	2	1クラスの人数が多くなり教師の負担が増える。→教育効果は？ いろいろな困難をもった子に対して指導が細やかにできなくなる。 1クラスの人数が多くなり、それに伴って新たな人間関係がでるだろう。 親は問題の全てを担任のせいにする傾向がある。	
		2	5	健康問題	2	2	2	2	スクールバスによる登下校で肥満や登下校にかかる時間が増える。 スクールバスは便利だけど、子どもメタボはかわいそう。 下校がはやくなって学校で遊べないかもしれない。	
		5	4	通学負担増	3	3	2	2	通学距離が長くなる。スクールバスだと弊害も出る。 立地場所によって通学困難な子どもが生じる可能性。 朝早く起きるのが大変な子どもがいるだろう。 6年生はともかく1年生は登下校が大変。(成島とか遠隔地)	
		6	2	地域とのかかわり減少	2	3	2	2	住民と子どもとの接点が無くなる。どこの子どもかわからなくなる。 地域の親の人間関係づくりが大変。	
		最重要課題：災害時の問題								
		アイデア項目				個々の意見				
		設備と訓練の充実				児童が長期間生活できる物資と設備→災害公園のような機能を備えた学校にする。(野外調理、トイレ、シャワーなど)				
						新校舎に調理やシャワーの設備を導入し、災害時に引き取れない場合の対応を想定しておく。				
						お年寄りから赤ちゃんまで、みんなでまとまって避難できるような施設・設備。まとまった訓練をする。				
						物資が届けられるよう、ヘリコプターの利用。				
		地域との協力				地域住民が協力して子どもの面倒を見るチームづくり。				
						災害時に新校舎立地地区に児童のケアをお願いする。				
		連絡手段				災害時の連絡手段。(メールに疎い人がいる)				
						災害時に親が近くにいるかどうか。				
		危険箇所の事前確認				通学路の建造物(橋など)の耐震を確認する。				
		食糧の確保(おやつも)				食糧の確保。3日間で足りるのか？				
	子どものメンタルケア				子どものストレス、対応できる？大人でも気が滅入る。					



班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見
				行政	学校	PT A	地域	
睦合小2班	問題や課題	1	8 若年者の減少	3			2	学校がなくなった地域は、若い人が定住しなくなるのではないかな。 地域人口(若年者定住)の減少。
		2	7 災害が起きた時の問題	3	2	1	1	大地震が発生した時、家に帰れない。 大きな災害の場合、引き取り不可。 国道が寸断されたら?児童の安全確保。
		2	7 学校がなくなった地域はさみしい	3			3	自分の住んでいる地域への愛着、誇りの喪失。 地域が寂しい。
		4	2 通学路の問題(スクールバスが増え、子どもが歩かなくなる。)	3	2			通学路・距離の増大→それだけ危険も増える。 登下校の通学路が複雑になる。 通学時間。 スクールバスが確保できるか。歩かなくなる。
		0	地域力の低下					その土地独自の文化・伝統が続くかな? 文化施設の減少により、地域力の低下。
	最重要課題：若年者の減少							
	課題解決のアイデア	アイデア項目		個々の意見				
		住宅の確保		農地を宅地に転用する方法簡易化。				
				住む場所の確保。アパートの建設。				
				分譲宅地をつくる。				
				空き家の利用。				
				住宅の充実。町内で買い物をした分、アパート代が安くなる。				
		学校跡地の活用		学校の跡地の活用をする。(テーマパーク)				
				テーマパーク。(マンガ・コスプレ)				
				富中跡におばけ屋敷。				
				直売所を大きくする。売店の充実。《富中跡のことか?》				
		オンリー1の南部町(新しい町おこし)		目玉となるものの発掘で地域おこし。				
				南部町に何度も来たいようなものを作る。				
				オンリー1の町、何かで1番に。				
		男女の出会いの場		男女が仲良くなるイベントの開催。				
				少子化対策。子ども1人目10万円、2人目50万円、3人目100万円の補助。 スタバ、ドトール。				
		働く場所		働く場所を確保する。企業を呼ぶ、商店を作る。				
		交通網の整備		富士・富士宮へのアクセスを良くする。				

【統合しない場合】

富河小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

富河小1班			順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見	
班		行政				学校	PT	A	地域		
富河小1班	問題や課題	1	10	集団活動に制約がかかる			2	3	1	合奏やサッカー・野球など少人数過ぎてできない。 合奏・合唱に迫力がない。 運動会の集団演技に迫力がない。	
		2	6	人間関係の固定化				3	2	1	人間関係が固定化し、いじめなどの問題があった時、逃げ場がない。
		2	6				3	2	1	子ども達の競争心が衰退する。 少人数により適応できない人間が作られてしまう？東京へ出た時など心配。 都会の子どもと比べて競争心がなくなる。新しい刺激が少なくなる。	
		4	4	学年で0人発生			3		1	2	学年で0人が発生する可能性。 30年度に万沢入学見込みゼロ。
	4	4	予算効率の悪さ			3	2		1	施設の利便性の悪さ！ 建物維持費がかかる。効率が悪い。 町の教育予算がかかる。	
	最重要課題： 集団活動に制約がかかる										
	課題解決のアイデア	アイデア項目					個々の意見				
		交流を増やす					学校間の交流を行い、大勢の中でやる。 町内の小学校で合同で開催する。(運動会等) 富河・万沢の交流学习を増やす。 学年を飛び越えて学習する。合同学習。 地域の方々を呼び、交流してもらう。 都会の学校を万沢に呼ぶ。				
ネット活用					ネットを利用した学習を行うことでカバーできることもある。						
現状を受容する					合唱・合奏は迫力無くても少ない中で行う。見る側が温かい目で見える！						

班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見
				行政	学校	PT	地域	
富河小2班	問題や課題	1	7	3	3	2	1	競争心が育たない。
		2	5	3	3	1		中学・高校に進学した時、多人数に慣れなくて大変だと思う。
								中学・高校になったてからの人間形成に影響しないか？
								外に出て行ったとき対応できない。
		3	4		3	3		友人関係が多く築けない。
								友達関係が固定化され、仲間割れやいじめにつながっていくこと。
		4	2	2	3	2	1	体育で行うものが限られる。
								運動会などの行事が盛り上がらない。
		4	2	3	2	1		町の負担が大きくなる。
								序列ができてしまう。
課題解決のアイデア			0					少人数の場合序列ができて、6年間その位置で上がっていくこと。
			0					いじめにあった場合、逃げる場所がなくなる。
		最重要課題： 競争心が芽生えない						
		アイデア項目			個々の意見			
		人口増			人口を増やす。			
					人口増やす。			
		婚活による人口増			婚活イベントをする。			
					婚活イベント。			
		農林業振興による人口増			農業振興。			
					林業振興。			
		N授業の充実			N授業のさらなる充実。			
		山村留学による児童数増			山村留学。			
		住宅提供による人口増			住宅の提供。			

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見
					行政	学校	PTA	地域	
富河小3班	問題や課題	1	12	不安定な子どもの気持ち	1	3	1		中学校に入って人数の多さにびっくりし、孤立しないか心配。
									中学に行くと慣れにくくなる。
									競争心が育たない。
		2	6	子どもの負担増	2	1	2	2	子どもの負担が多くなる。(掃除など)
									運動会の時、出場種目が多く、すぐに順番が回ってくる。
									学年の役員を何度もしなくてはいけない。
	3	3	親の負担(気持ち)		1	3		保育園で一緒になったのに、小学校で離れ、中学校でまた一緒になるのはおかしい。	
	最重要課題：不安定な子どもの気持ち								
	課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見			
		交流の機会を増やす				N授業を多くする。			
学年ごとの(全学校での)イベントを増やす。									
他校と交流の機会を設ける。									
交流日を月に何回か設ける。									
月に1度、週に1度の交流。									
				運動会 一緒！					

栄小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

			役割分担				個々の意見					
班	順位	得点	項目名								行政	学校
栄小1班	問題や課題	1	18	集団活動(学習)がしにくい			3	3	1	1	競争心の低下。 集団での学習ができなくなる。(特に体育とか合唱とか) 集団学習の機会減少。 体育・音楽などの学習が限られる。 体育で球技ができない。 集団生活低減。	
		2	11	学力低下			3	3	2	2	複式学級。 複式学級。	
		3	6	友人関係の固定化による弊害			1	2	3		友達との関係。	
		4	1	教員減少			3	3	3	1	児童の減少に伴う教員の減少。教員確保の課題。	
		5	0	児童・親の役割負担増				2	3		児童会活動がたいへん。 PTA役員。	
	最重要課題： 集団活動(学習)がしにくい											
	課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見						
		他校との共同授業を増やす				N授業の回数を増やす。						
						N授業の増加。						
						他校との共同学習の充実。						
		ICT活用した他校との交流授業				インターネットの会議システムを利用しての、他校との交流授業。						
		短期留学制度のサイクル運用				短期国内留学のサイクル的運用による児童数の確保。						
長期留学制度				短期間留学制度。(例:3か月サイクルで留学児童が代わる)								
学区外からの児童受け入れ				山村留学制度。(年単位)								
移住政策の強化				学区外からの児童受け入れ。								
				他町からの移住を促す。								
				農業・林業に興味のある家族を募集。								
子育てしやすい環境				転校生の募集。								
				子どもを増やす。								

万沢小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見
				行政	学校	PT	地域	
問題や課題	1	13	人数の減少の問題	3	1	1	1	さらなる児童の減少。 人数の減少。
	2	10	学校行事の問題	1	3	2	1	人数が少ないとできることも限られる。(ドッチボール等 劇等) 人数が少ないと子どもの競争心が、あまりなくなる。 学校行事が子どもたちだけでは成り立たない。
	3	6	人間関係の問題	1	3	2	1	幅広い人間関係がつかれない。 人間形成。性格形成。 大勢の中での人間関係がうまくとれるのか？
	4	1	長期休暇の問題	1	3	2	1	人数が少ないと夏休みの宿題が多い。(他の学校は人数があるので、選択すればいいのに・・・)
万沢小1班 最重要課題：人数の減少の問題								
課題解決のアイデア	アイデア項目			個々の意見				
	移住のメリット生み出しPR			子育てしやすい制度。 南部町に定住したいと思わせる魅力あるなにか。 万沢に住むと色々な良い事があると伝える制度を作る。 万沢の良さをつたえる。 万沢の良さを他地域に伝える活動を！(結果、人数が増える)				
				(子どもを持つ世帯のための)分譲地やアパート提供。 分譲住宅に条件を付けて販売する。(子どものいる人のみ等) 分譲地・アパートを増やす。 アパート・分譲地。 分譲地を増やす。				
				子どもの人数を増やす。 子どもの人数を増やす。				
	学区の見直し			十島地区を万沢小に。				

班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見
				行政	学校	PT	地域	
問題や課題	1	10	多様な意見・考えにふれる機会が少ない	3	3	2		少人数だからできない授業がある。 多様な意見・考えに触れる機会が少ない。 意見の種類が少ないので、発想・アイデアが増えない。 集団での種目(スポーツ)・ゲーム・遊びが経験できない。
	2	9	放課後・休日の集団遊びが限られる	3	1	2	1	放課後の遊びが限られる。 休日、遊ぶ仲間がいない。(家の中でゲーム中心・・・) 仲間の数。
	3	5	競争心(刺激を受ける機会)が少なくなる	2	3	2		競争心がつかない。
	4	1	個の課題が集団において目立ちやすくなる	2	3	1		個の課題が集団の中で目立ちやすい。
万沢小2班 最重要課題：多様な意見・考えにふれる機会が少ない								
課題解決のアイデア	アイデア項目			個々の意見				
	交流授業・行事の機会を増やす			4校交流の時間を各学年増やす。 春の遠足等4校合同で行い、ゲームで親睦を深める。 N授業を年1回から、学期1回に増やす。 学校ごとの交流を充実させる。 行事数が少ない。				
				ICTの活用。(コンピュータ・インターネットなど) 読書勝層の充実。				
				学校外での交流(スポ少・交流事業)の充実				
				南部町内よりさらに広い世界との交流				
				外国語授業などを充実し、もっと広い世界との交流もしていく。				

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見	
					行政	学校	PT A	地域		
万沢小3班	問題や課題	1	12	少人数問題	3	2	2	1	子どもが少ないと多様な考え方に触れる機会が減る。	
									人数が少ないことで、できなくなってしまう行事なども出てきそう。	
									このまま統合しないで今より児童数が減る場合、学校として成り立つのか。	
									集団活動に不慣れになる。	
									体育授業での団体スポーツが限られる。	
									体育等、運動をするのに人数が足りるのか。	
	最重要課題：少人数問題									
	課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見				
		人口増加				万沢の良い所をアピールして人口を増やす。				
						万沢小の利点をアピールして生徒数を増加させる。				
生徒数が増えるよう若い世帯の誘致、住みやすい環境を作る。										
ホームページ等を充実させ、情報をたくさん発信する。										
他校との交流				4校の交流の機会を増やす。						
				外部との交流を増やす。						

班		順位	得点	項目名	役割分担				個々の意見
					行政	学校	PT A	地域	
万沢小4班	問題や課題	1	12	児童数の減少と男女のバランス	3	3	3	2	子どもの人数が少なくなる。
									子どもの人数が少なくなる。
									児童数増加を考える。(住宅・分譲地)
									学年だけでは成り立たない。授業が増えるための対応を考える。
									男女のバランス。
		2	6	学校間の交流が少ない	3	3	2	2	4校合同でのN授業など交流を増やす。
									スキー教室、修学旅行など、南部中学校への不安の解消。
		3	4	放課後、長期休暇の子ども居場所がない	3	3	3	2	休み期間の学童。
	最重要課題：児童数の減少と男女のバランス								
課題解決のアイデア	アイデア項目				個々の意見				
	学校間の交流のさらなる充実				他の学校との交流。				
					学校間のコミュニケーションを増やす。				
	住みやすい環境の整備				定住してくれる環境づくり。				
住みやすい環境。									

## 睦合小学校

※役割分担 3:主となって取り組む 2:ともに取り組む 1:関わる

班	順位	得点	項 目 名	役割分担				個々の意見		
				行政	学校	PT A	地域			
睦合小1班	問題や課題	1	13	人間関係の固定化	2	3	2	2	固定した人間関係に陥りやすい。	
									子ども同士で役割が固定化してしまう。	
									人間関係が固定化。(悪くなった時、回復がむずかしい。社会性が育たない。)	
									クラス替えができない(いまもできないが)。いつも同じメンバー。	
									違うモノ・ヒトとの接し方が分からなくなるのでは？	
										異文化交流。諸外国の前に町内交流。
		2	8	集団活動ができなくなる	2	3	2	2	人数が減って、集団で取り組むスポーツや文化活動ができなくなる。	
									学校行事が成立しないかも。	
									体育や音楽などのクラスが成り立つ？クラブや委員会も。	
		3	7	考え方の偏り	3	3	2	2	運動会や音楽発表会の発表がかわってくる。	
									部活の数減少する。	
			0	保護者の負担増					多様性のある意見や人たちとどのように接していくか、学ぶ機会が少なくなる。	
									いろいろな考え方に触れることができない。	
			0	集団登下校ができなくなる					環境整備(保護者・教師)の負担増加。	
									経済的負担はどうなるのだろうか。よくなる?悪くなる？	
			0	メリット					登校班の人数が減り、登下校のリスクが大きくなる。	
									毎日集団下校が必要って、信じられない。	
		既存の設備が無駄にならない。								
最重要課題：人間関係の固定化										
課題解決のアイデア	アイデア項目			個々の意見						
	様々な人との交流			定期的な学校間交流。						
				町外の学校と交流。身近な静岡県(富士宮)						
				中学生との交流会。						
				いじめは意外とおきないのでは？(保育所間交流が月に1度あるよ！)						
				老人クラブとの交流。						
				赤ちゃんに触れる機会は欲しいよね！						
				国際交流。日本をとびだす海外留学。						
	他校と合同授業			英語個人レッスンのできる環境づくり。						
				体育・音楽など集団でやるべき教科を、日を決めて、まとめて合同で行う。(クラブ活動も)						
行事の合同開催			農業体験をみんなで！(総合)							
			行事は全て合同開催。							
ICTの活用			練習がいらないイベントづくり。							
			ICTで合同でバーチャル授業を行う。							

班		順位	得点	項 目 名	役割分担			個々の意見	
					行政	学校	PTA A		地域
陸合小2班	問題や課題	1	12	学び方の課題	1	3	2	主体的・協働的・対話的な学び方を身に付けられない。 多様な考え方に触れることができない。	
		2	7	町の財政	3			町の財政が減っていく中、学校予算の減少。	
		3	5	保護者の負担			3	PTA役員、作業等保護者の負担。	
		最重要課題： 学び方の課題							
	課題解決のアイデア	アイデア項目			個々の意見				
		交流・スポーツなどで「N事業」			学校間のさらなる交流。				
					N授業。交流の場。				
					N授業。年に1度のお楽しみ。				
					万沢小は人数が少なくドッチボールができないので、他校と一緒にドッチボール。				
		町の交流イベント			交流。みんなで交流できるスポーツ大会等。(ドッチボールなど)				
町主体の交流イベント。(イングリッシュキャンプ、スポーツおにごっこ等)									
地域で交流イベント。(スポーツ鬼ごっこ等、万沢にはバスを)									
ICTの活用			キンボールなど目新しいスポーツの講習会を開く。						
			ICTの活用、ネットワークの利用。						



## 4. 結果分析

### 重要度評価の結果

#### ①最重要課題となった項目(班別)

##### 【統合した場合】

大分類	中分類(最重要課題の項目名)	地区
通学	通学における諸問題	富河
	通学に関する問題	栄
	交通面(通学)の問題	万沢
	登下校の問題	万沢
衰退	万沢地区の今後(子どもの減少・衰退)	富河
	学校が地域からなくなることによる「地域の衰退」	万沢
	若年者の減少	睦合
災害	災害時の対応	万沢
	災害時の問題	睦合
心	統合時の子どもの心の問題	富河

※ 付箋(個々に記入した意見)の総数:139枚

##### 【統合しない場合】

大分類	中分類(最重要課題の項目名)	地区
少人数の弊害	集団活動に制約がかかる	富河
	競争心が芽生えない	富河
	集団活動(学習)がしにくい	栄
	多様な意見・考えにふれる機会が少ない	万沢
	少人数問題	万沢
	児童数の減少と男女のバランス	万沢
	人間関係の固定化	睦合
	学び方の問題	睦合
衰退	人数の減少の問題	万沢
心	不安定な子どもの気持ち	富河

※ 付箋(個々に記入した意見)の総数:99枚

## ②課題解決のアイデア

### 【統合した場合】

大分類	中分類(小分類を類型化)	小分類(アイデア項目)	地区
通学	スクールバス	きめ細かなスクールバス運行	富河
		スクールバスの整備・充実	栄
		スクールバス運行(の充実)	万沢
		スクールバスの本数増と充実	万沢
		停留所の適切な設置(数・場所)	万沢
	地域の協力による安全確保	ボランティアによる安全確保	栄
		地域の方の協力	万沢
	道路整備	道路整備	栄
		歩道の確保(自分で歩いて通える環境を)	万沢
	その他の通学方法	中学校のスクールバス活用	富河
		町営バス活用	富河
		町営バスの利用	万沢
		タクシー利用	富河
		自転車通学	栄
		徒歩(体力向上)	栄
	学校移転	新校舎の建設(中間地点に)	万沢
		南部橋付近に学校整備	栄
	その他	地域で遊べる場所・機会の充実	万沢

衰退	地域活性化	地域活性化	富河
		地域住民の協力	富河
		地域活性化の推進	万沢
		オンリー1の南部町(新しい町おこし)	睦合
	住宅政策	人口増加策の推進	富河
		住宅の確保	睦合
		人口を増やせ	万沢
	アクセス向上	交通網の整備・確保	富河
		交通手段の充実	万沢
		交通網の整備	睦合
	就労	企業誘致	富河
		働く場所	睦合
	その他	万沢地域で学習	富河
		学校存続	万沢
		男女の出会いの場	睦合
		学校跡地の活用	睦合

災害	連携	学校側の対応	万沢
		PTA・行政との連携	万沢
		地域との協力	睦合
		連絡手段	睦合
	備え	災害に強い道路整備	万沢
		設備と訓練の充実	睦合
		危険箇所の事前確認	睦合
		食糧の確保(おやつも)	睦合
	ケア	子どものメンタルケア	睦合

心	交流	さまざまな交流の機会を持つ	富河
		交換日記	富河

※ 付箋(個々に記入した意見)の総数:104枚

【統合しない場合】

大分類	中分類(小分類を類型化)	小分類(アイディア項目)	地区
少人数の 弊害	学校間交流	交流を増やす	富河
		N授業の充実	富河
		他校との共同授業を増やす	栄
		交流授業・行事の機会を増やす	万沢
		他校との交流	万沢
		学校間の交流のさらなる充実	万沢
		他校と合同授業	睦合
		行事の合同開催	睦合
		交流・スポーツなどで「N事業」	睦合
		行事の合同開催	睦合
		ICT活用した他校との交流授業	栄
		ICTの活用(バーチャル授業)	睦合
	その他の交流	様々な人との交流	睦合
		学校外での交流(スポ少・交流事業)の充実	万沢
		町の交流イベント	睦合
		南部町内よりさらに広い世界との交流	万沢
	ICT活用	ICTの活用	睦合
		様々な情報手段を活用する	万沢
		ネットを活用	富河
	町外から受け入れ	短期留学制度のサイクル運用	栄
		長期留学制度	栄
		山村留学による児童数増	富河
		学区外からの児童受け入れ	栄
	人口増加策	住みやすい環境の整備	万沢
		人口増	富河
		子育てしやすい環境	栄
		移住政策の強化	栄
		婚活による人口増	富河
		農林業振興による人口増	富河
		住宅提供による人口増	富河
		人口増加	万沢
	受容	現状を受容する	富河

衰退	人口増加策	移住のメリット生み出しPR	万沢
		分譲地・アパート	万沢
		子どもの人数を増やす	万沢
	その他	学区の見直し	万沢

心	交流	交流の機会を増やす	富河
---	----	-----------	----

※ 付箋(個々に記入した意見)の総数:89枚

